



碧南ロータリークラブ週報

第3123回例会 令和7年3月26日(水)

- 会長 鈴木 泰博
- 幹事 大竹 密貴
- 会場監督(SAA) 長田 康弘

2024-2025 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100
- 会報委員 牧野勝俊・杉浦邦彦・岡本耕也



● 斉 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

高校生百貨店・ワカモノミライデパート 高田千鶴様
菅野こころ様

会 長 挨拶

本日も例会へのご出席ありがとうございます。

3月23日に碧南ライオンズクラブ60周年記念式典があり、長田和徳さんは碧南商工会議所の会頭として、私は碧南RCの会長として出席させていただきました。150人ぐらい集まって盛大に行われ、懇親会の中ではマグロの解体ショーなどもあり、非常に活気がありました。

ただ、翌日の朝に式典で最後に挨拶をされていた榊原設備の榊原裕之様がお亡くなりになったということが飛び込んできまして、お祝いムードからちょっと違うような感じになってしまいました。彼はまだ54歳で若くて、碧南RCのメンバーの方々もよく接してみえたかと思いますが、私の会社もいろいろと仕事をしていただいております。非常に立派な方を54歳という若さで亡くしてしまっていて残念だと思っています。ご冥福をお祈り致します。

今日は黄砂についてのお話をさせていただきます。皆さんもご存知のことだと思いますけど、ちょっと聞いてみてください。黄砂は中国大陸内陸部のタクラマカン砂漠、ゴビ砂漠や黄土高原など、乾燥・半乾燥地域で風によって数千メートルの高度にまで巻き上げられた土壌・



鈴木泰博会長

鉱物粒子が偏西風に乗って日本に飛来し、大気中に浮遊あるいは降下する現象です。

風によって大気中に舞い上げられた黄砂は、発源地域周辺の農業生産や生活環境にしばしば重大な被害を与えるばかりでなく、大気中に浮遊し、黄砂粒子を核とした雲の発生・降水過程を通して地球全体の気候に影響を及ぼしております。また、海洋へも降下して、海洋表層のプランクトンへのミネラル分の供給を通して海洋の生態系にも大きな影響を与えていると考えられておりますが、その量についてはまだ明確にはなっておりません。

黄砂現象は従来、自然現象であると理解されてきましたが、近年ではその頻度と被害が甚大化しており、急速に広がりつつある過放牧や農地転換による土地の劣化等との関連性も指摘されております。そのため、黄砂は単なる自然現象から、森林減少、土地の劣化、砂漠化といった人為的影響による側面も持った環境問題として認識が高まっております。

飛来する黄砂粒子の性質として、黄砂粒子には石英や長石などの造岩鉱物や、雲母、カオリナイト、緑泥石などの粘土鉱物が多く含まれております。日本まで到達する黄砂の粒径の分布は、直径 4 ミクロン付近にピークを持ちます。黄砂粒子の分析からは土壌起源ではないと考えられるアンモニウムイオン、硫酸イオン、硝酸イオンなども検出され、輸送途中で人為起源の大気汚染物質を取り込んでいる可能性も示唆されております。

黄砂による被害につきましては、皆さんもご存知のように喘息や気管支炎などがあり、アレルギー症状が起きた場合は目や喉のかゆみ、皮膚の赤みなどが発生しております。また、農業への影響も深刻で、作物に黄砂が付着することで成長が妨げられたり、汚染された雨が降ることで土壌が劣化したりすることがあります。

黄砂が大量に浮遊している場合は視界が悪化し、交通事故のリスクが増加することがあります。日本では視界が悪化するほどの大量の黄砂は飛来しませんが、中国ではそういったことが多く発生しております。黄砂の時期としては、3月の初め頃から5月ぐらいまでということになっております。

黄砂被害の対策としては、黄砂が飛来している時期に外出を控えるのが一番良いんですけど、そういう訳にはいかないなので、マスクやサングラスを着用してできるだけ黄砂に触れないようにする。

室内環境を整えるということで、黄砂の飛来が予想される日には窓やドアを閉め、室内への侵入を防ぐことが重要です。また、空気清浄機を使用して室内の空気を清浄に保ちましょう。換気は大切ですが、高濃度の黄砂が飛来している時に換気すると、黄砂が屋内に入ってきて空気の質が悪くなりますので、気を付けていただきたいと思います。

今の時期、花粉症と黄砂でアレルギーを持った方にとっては非常に苦しい時期だと思えますけど、くれぐれも体には気を付けていただいて、対応していただきたいと思います。

今日の卓話は私の知っている限りでは最年少のスピーカーだと思います。よろしくお願ひ致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ にしあらい公園整備委員会より「御礼並びにご案内」が届いております。
- ・ 碧南ライオンズクラブより「創立 60 周年記念誌」が届いております。
- ・ 碧南高浜防犯協会連合会より「春の安全なまちづくり県民運動の実施について(お願い)」が届いております。
- ・ 4月2日(水)の例会終了後に第10回理事会を開催致しますので、役員、理事の方はご出席いただきますよう、よろしくお願い致します。



大竹密貴幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 61 名 (内出席免除者 14 名の内出席者 11 名) 出席者 45 名	
出席対象者 45 / 58 名	出 席 率 77.59%
欠席者 16 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 鈴木 泰博君 楽しいことがありました。
- 角谷 信二君 石川鋼勇君、すばらしいスピーチ涙がでそうになりました。5年間お疲れ様でした。
石川昌樹君、野球部やめなくてよかったな！！
- 杉浦 秀延君 過日、元宮内庁式部職楽部主席学長 岩波滋先生のご指導を受け開発を進めて来た、初級者向け工具が東京藝術大学邦楽科雅楽専攻大学院生向けに採用が決まりました。1300年続く伝統を新しい世代へ継承するお手伝いできました。
- 木村 徳雄君 今シーズンのスキー、先日妙高高原池の平ゲレンデで終了しました。年々スキー人口減ってます。お孫様に是非スキーをさせましょう。碧南スキー連盟、スキー指導、ボード指導できます。来年、皆さん碧南市民スキー大会等にお孫様といっしょに参加して下さい。
- 杉浦 栄次君 西端地区の「にしあらい公園」に植樹をいただいて3年が経ち、公園の全ての整備が完了しました。ロータリークラブの皆様に感謝しております。父と共に御礼申し上げます。
- 岡島 晋一君 } 去る3月22日、碧南市消防団・消防予備隊の入退式を無事開催する事が
鈴木 洋君 } 出来ました。長田会頭、杉浦秀延副会長、角谷信二直前会長、杉浦栄次直前

幹事、長田SAA委員長には御臨席賜り、有難うございました。皆様と共に石川鋼勇君の卒隊を祝う事が出来ました。

小林 清彦君

本日の卓話講師 高田千鶴さん、菅野こころさんを紹介します。

福祉を学ぶ高校生を支援する活動として、全国福祉高等学校長会と連携して、幸せの国デンマークへの福祉視察研修を今月行いました。研修実施にあたり、貝田さん、大竹さんには多大なご支援をいただき、有難うございました。来年も開催を予定しています。また多くの方のご支援をお願いします。

石川 鋼勇君
亀山 晋次君
竹内 康人君
長松 政孝君
山崎 太幹君
神谷 領伸君
三木 信幸君
鳥居 靖君
楡 孝子君

黒田会長エレクト、先日は高級肉をご馳走様でした！しっかり頑張ります。

卓 話

「ワカモノミライデパート」

高校生百貨店・ワカモノミライデパート 高田千鶴様、菅野こころ様



高田千鶴様

改めまして、皆さん、こんにちは。高校生百貨店の高田と菅野でございます。

本日はこんな素晴らしい場所で私たちの取り組みを伝える機会をいただき、本当にありがとうございます。私のような若輩者が誠に僭越でございますが、皆様に向けた卓話ということで、30分ほどお時間をいただきたいと思います。それでは、早速始めさせていただきます。



菅野こころ様

高校生百貨店の説明の前に軽く自己紹介をさせていただきます

私は兵庫県出身で、もう卒業したんですけど、神戸にある神戸商業高等学校の商業科の3年生です。今までの活動としては、様々なイベントを運営したり、インターンを経験したりしました。現在は高校生百貨店の兵庫県チームとして活動しつつ、ワカモノミライデパートに取り組んでいます。また、まちづくりや観光というのに興味を持っていて、将来の夢を実現させるために来月から沖縄に移住をしようと考えています。

初めまして、高校2年生の菅野こころです。兵庫の魅力を知りたい、伝えたいという思い

から、高田とともに高校生百科店兵庫チームを立ち上げ、2年目になります。本日はよろしく
お願い致します。

まず、高校生百科店はどんな団体なのかをお話しします。高校生百貨店は高校生が主体と
なって取材、仕入れ、販売までを行う団体です。私たち高校生は生産者の思いを若者の視点
を通して伝えることを軸に活動しています。定期的なミーティングで販売会までの目標を設定
し、達成のために何をすべきか話し合います。ミーティングはオフラインを基本とし、必要に
応じてオンラインも実施しています。

販売元へは自分たちでアポイントメントを取り、取材に行きます。単に商品の情報を集め
るだけでなく、商品が作られた経緯や思い、商品の裏にあるストーリーに焦点を当てていま
す。販売会当日はレイアウト、ポップ作成、ビラ作成、接客方法まで自分たちで工夫しながら
販売を行っています。

高校生百貨店は東北の震災復興をきっかけに始まり、現在では岩手、宮城、福島、東京、神
奈川、岐阜、京都、大阪、兵庫、熊本、沖縄の全国 11 地域で開催されています。各地域の魅
力ある商品を全国へ届けるため、高校生が日々活動しています。

高校生百貨店の活動を通じて、私は病院マーケティングサミットジャパンのスタディツア
ーに参加するようになりました。日本各地の医療現場や病院での取り組みを知る中で、病院・
医療が地域の中心にあることを強く感じました。従来の「体を治すところ」というイメージか
ら、地域の人が集う場所、心の健康もケアする場所という発見は大きな衝撃でした。

この経験から高校生百貨店の「生産者の思いを届ける」という取り組みと、病院という「様々
な世代、バックグラウンドが交わる場」を掛け合わせると、素晴らしい化学反応が生まれるの
ではないかと考えました。そこで誕生したのが「ワカモノミライデパート」です。

ワカモノミライデパートは病院の売店や施設内に若者が心動かされるものを置き、病院か
ら地域に発信するプロジェクトです。コンセプトは「ミライを作るのはきっと、ワカモノ」。
ワカモノの「何かを作りたい、変えたい」という思いが誰かの心に届き、「応援したい、一緒
にやりたい」というエネルギーに変わる循環を作りたいと考えています。ここでの「ワカモ
ノ」とは、年齢ではなく「情熱を持って何かに取り組む人たち」を指しています。高校生だか
ら、大人だからという区別なく、多様な背景や価値観を持つ人々が交わる場で、熱いエネル
ギーの連鎖を生み出したいと思っています。

デパートの棚が軸となり、ワカモノたちの社会への熱い思いが商品という形でそこに並び
ます。それを手に取る人の活力になり、新たなコミュニティが生まれ、誰かの生きがいとなっ
て、小さな幸せの連続が大きな幸せにつながり、少しずつ世界を変えていくのではないかと
考えています。ワカモノミライデパートは人と人、現在と未来、世代、地域、性別、価値観を
超えてつなぐ架け橋を目指しています。

私がこの活動に取り組む理由は自分自身の経験にあります。東京で生まれ育ち、兵庫県に
引っ越した当初は馴染めませんでした。しかし、時間が経つにつれて、兵庫にしかない文化や
人とのつながりに気付きました。地元のお祭りや昔から続くお店、そこにいる人々の温かさ。
こうした発見から、自分の住む地域にはまだ知らない魅力がたくさんあるのではないかと思
うようになりました。

そこで兵庫チームを立ち上げ、地域の魅力を知ることの大切さを実感してきました。これからは自分の住む地域の良さに気付いていない高校生や、地域に関心がない人に向けて、もっと広めていきたいと思えます。特に地方の高校生こそ、地域の良さを発信する力を持っています。外から見ると何気ない風景や文化が、実はとても価値あるものだったりします。その価値を再発見し、多くの人に伝えていきたいです。

次にワカモノミライデパートのこれからということで、現在、愛知県には高校生百貨店がありません。私たちは愛知の高校生と一緒に新たに高校生百貨店を立ち上げたいと考えています。高校生百貨店は単に商品売る場ではなく、高校生が地域の魅力を発見し、発信するきっかけにもなります。愛知には歴史ある伝統産業やユニークな食文化など多くの魅力があります。地域の良さを愛知の高校生たちが発掘し、高校生の視点で商品を作り販売することで、地元の人や観光客に新しい価値を届けたいです。

また、ワカモノミライデパートを全国の病院に広げる目標もあります。病院は治療を受ける場所という印象が強いですが、ワカモノミライデパートによって患者さんとその家族、病院スタッフ、地域の人々がつながる新しいコミュニティの場になると考えています。病院と学生、地域の人々が連携することで、それぞれの課題解決につながる可能性があります。例えば、病院に来る子どもたちが楽しく過ごせる商品やサービスを学生が企画したり、地元特産品を生かした商品を病院のカフェで提供したりすることもできるかもしれません。こうしたアイデアを全国で実施し、病院をより温かい場所になるような仕組みを作りたいです。

この活動を通じて、自分のやりたいことがより明確になってきました。今後は高校生自身が企画・開発した商品を世の中に届けることに挑戦したいです。全国の高校生百貨店メンバーとつながり、商品開発やイベント企画の場を作りたいと考えています。

全国 11 地域に広がる高校生百貨店は、それぞれ地域ごとの特色があります。例えば、北海道と九州の特産品を掛け合わせた商品開発や、関西と関東の高校生によるコラボショップなどに挑戦したいです。単に売るだけでなく、どう売るか、どうすれば魅力が伝わるかを考えていきたいです。イベントや販売会を通じて、お客さんのリアルな反応を見たり、商品のストーリーを伝えることで、高校生自身がものを売る意味を学ぶ場にしたいです。

最終的にはこれらの経験を活かして、高校生がもっと自由にアイデアを形にできる仕組みを作ることに挑戦していきたいです。高校生だからこそできること、高校生だからこそ見える視点を大切にしながら、これからも新しいことに挑戦を続けていきます。

昨年 12 月に病院マーケティングサミットでプレゼンする機会をいただき、様々な病院の方と連絡を取っています。まだワカモノミライデパートの継続的な導入は実現していませんが、導入に向けて努力を続けていきたいと思っています。もしよろしければ、碧南 RC の方々にもお力添えをいただけると嬉しいなと思っています。

最後に私たちの話にお付き合いいただきましたことに感謝を申し上げますとともに、クラブがより輝きを増しますことを深くご祈念を申し上げ、私たちの話を終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和7年4月9日（水）は13日の振替休会

令和7年4月13日（日）春の家族会 伊勢神宮・鳥羽国際ホテル

7：30商工会議所出発 帰着予定18：20

令和7年4月16日（水）は定款第7条第1節（d）による休会

令和7年4月23日（水）クラブフォーラム「地区研修・協議会報告」